

日野町民が主役の地域づくりフォーラムを開催しました

7月14日(土)、日野公民館で、地域の拠点「公民館」を、どのように活用すれば持続可能な地域づくりができるかを考えるための「日野町民が主役の地域づくりフォーラム」を開催しました。

当日は、基調講演に続き、公民館の活動の実践発表、シンポジウムを行いました。シンポジウムでは、公民館活動の課題や思いなどを3名のシンポジストから語っていただくとともに、参加者からの意見、思いなども交え、公民館の役割について考える機会となりました。

基調講演

「地域を支え、地域に支えられる」公民館とは
和歌山大学理事・副学長 堀内秀雄氏

地域づくりは住民が中心

地域づくりの中心は住民であり、行政は住民の活動を支援していくことが原則である。その中で大事なことは、行政と住民が情報を共有すること、活動や事業に参画すること、そして協働することである。

地域の人に役立つ公民館となるには

公民館の原則は、「集い、学び、交わり、結び」の4つ。これからの公民館が地域づくりの拠点となるには、さらに「助けあい、支えあい、学びあい、つながりあう」ことが必要になる。

第5次日野町総合計画における基本方針である「学びあいまなではぐくむ自治のまち」が絵に描いた餅にならないように、「助けあい、支えあい、学びあい、つながりあう」公民館を日野町で創っていくことが重要である。



実践発表

持続可能な共生のまちづくりをめざす公民館活動
岡山市教育委員会事務局指導課課長補佐 内田光俊氏

地域づくりのきっかけの場・力をつなぐ場＝公民館

公民館での学びにより、学んだ人の行動が変わっていく。自分がまず学び行動が変わると、属しているグループが変わっていく。そして地域が変わっていく。そのきっかけづくりの場が公民館である。

また、地域にあるさまざまな



な力をつなぐことも公民館の大きな仕事。公民館が手になることはもちろんであるが、つなぎ手を増やすことも公民館の役割。まさに公民館は地域づくりの力をつなぐための場である。

シンポジウム

地域づくりの拠点としての公民館

コーディネーター 堀内秀雄氏

コメンテーター 内田光俊氏

シンポジスト 矢島孝男氏・西村保子氏・古澤知佳氏

矢島氏 (日野公民館運営委員長)

日野地区では自治会に加入されない方も増え、地域活動を支える人が少なくなってきた。地域や社会が変わってきて、今までのしくみで公民館活動をしていくのは限界にきている。また、公民館(社会教育)の存在意義が重要視されないことに危機感を持っている。



▲約140名の方が参加されたフォーラム。講師の方は「こんなにたくさんの方が集まることは、この町に自治が息づいている証拠だ」と話されていました

公民館が地域や団体のものではなく、地域に住んでいるみんなのものと考えてほしい。これからは、日野地区全体がもう少し楽に動けるような地域やしくみづくりについて、みんなで考えていける場を何とか創っていきたい。

西村氏 (必佐公民館実行委員)

昔は公民館で結婚式や銀婚式をするなど、みんなが身近に利用していたが、今は何か行事があれば行くだけになっている。

館長や公民館主事さんが公民館活動を頑張っているの、もう少し地域みんなの協力が必要に感じる。また、これからの公民館活動は、内側(普段利用している人)だけでなく外側(利用していない人)へも呼びかけていかなければと思う。

今後は、「ありがとう」とお互いに声をかけ合えられる地域づくりに取り組んでいきたい。



古澤氏 (西大路ユースクラブ副会長)

公民館は人と人をつなぐ場所、気軽に足を運べる場所だと思う。しかし、今の公民館は納涼祭や運動会、文化祭以外はあまり人、特に若者が来ない。

普通に生活している若者に公民館はこんなことに使えるなど、もっと情報をPRしてほしい。

公民館がなければ、いろんな世代の人が関わりあうことがないと思うので、公民館とユースクラブが協働して、何か若者が興味をもってもらえるきっかけづくりができればと思う。若者を集めるには若者がいなければならぬ。

講評

変えなければいけないものもあるし、変えてはいけないものもある。地域は効率化を考えたり、利益を生むものではない。良いところを伸ばし発展させ、弱いところは補う。一人だけではできないし、行政だけでもできない。ビジョンを共有して一緒に取り組んでいく必要がある。地域にはさまざまな考え方があって当たり前である。日野町を良くするためには住民と行政が努力し合う。その地域づくりの拠点が公民館であってほしい。

フォーラム参加者の声

● 公民館の実行委員をして、公民館の活動は人をつなげる活動という印象をもった。集落でも行事ごとがないと人と知り合う機会がない。公民館もそういうものかと思う。

● 地区の公民館は人と人をつなげることが主な仕事であり、こちらに重点を置き活動し、中央公民館は日野町全体の社会教育や子育て、防災、福祉などを見てもらう役割分担ができれば、もっと日野町の公民館活動、地域のつながりが活発になるのではないかと。

● 20年前は地域の中で、積極的に地域を改善していく取り組みが行われていた。しかし、年々それがなくなり、住民の意識改革ができない。もっと生活課題を取り上げた話し合いをした方が難しい状況である。

● 2年前に女性会が解散したが、これでは駄目と思い女性会を立ち上げた。社会教育団体の一つとして、女性の感性や意見、声、思いを伝えていきたい。

● 公民館活動に参加されない人の思いを聞いて、今までの公民館活動の良いところを残しつつ、変える勇気が必要という言葉が心に残った。

◆問い合わせ先

企画振興課企画人権担当

☎ 065552 有線 08963